

5. 空き家の活用事例（市町村）

NPO 法人等と協力して空き家の活用を行っている市町村の取り組みをご紹介します。



空き家活用事例① 空き家対策に関する連携協定

大和村、龍郷町

NPO 法人あまみ空き家ラボと連携協定を締結し、サブリース形式での活用促進

大和村

経緯

空き家の発生を抑制するため、大和村では各種助成制度を実施するほか、空き家の利活用を促進するため、NPO 法人あまみ空き家ラボと連携協定を締結しました。

取り組み内容

広報誌にサブリース形式での空き家活用について特集を掲載し、空き家ラボとの連携について周知したことで、問い合わせが増えていきます。現在（R7.1）、3件契約成立しました。

活用状況

1件は住まいとして活用、残り2件は借主がDIYで改装し、ゲストハウスとして活用しています。



▲NPO 法人あまみ空き家ラボとの連携協定（大和村）



▲DIY 中（大和村）

龍郷町

経緯

空き家の所有者から「実家を活用したい」と町の窓口相談がありました。相続登記がされていなかったため、NPO 法人あまみ空き家ラボを所有者に紹介したところ、同法人の事業であるサブリース契約によって賃貸物件として活用することとなりました。

取り組み内容

水回り、屋根、天井等の大規模工事や残置物の撤去は空き家ラボが行いました。

【活用した補助金】

龍郷町移住定住・住宅リフォーム補助金
（上限 50 万円、経費の 1/2 を補助）

活用状況

町外からの移住者かつ家族世帯限定で入居者を募集し、大阪からの親子 3 人家族の入居が決まりました。入居者は居住空間の DIY や、地域住民との交流等で島暮らしを満喫しているそうです。

今後の取り組み

活用に向けて、NPO 法人あまみ空き家ラボをはじめとした民間業者や専門家との連携を拡大していきます。



▲建物外観（龍郷町）



▲建物内観（龍郷町）



▲倉庫部分を脱衣所と浴室に改修（龍郷町）



空き家活用事例② 住まいるプロジェクト実行委員会



官民一体の任意団体で町内の住宅不足解消のための活動に取り組む

経緯

R3年度の県事業で実施した空き家調査をきっかけに、官民連携団体（住まいるプロジェクト実行委員会）が発足しました。また、当団体の調査で発見した空き家の利活用等を促進する取り組みを開始しました。

取り組み内容

町の喫緊の課題である「住宅不足の解消」について取り組みます。主に空き家のサブリースや管理を行い、委員の技術講習や研修等も実施します。

活動状況

普段は、物件の掃除や改修作業、契約物件の維持管理、空き家対策等に関する啓発活動を行っています。

詳しい活動状況は、SNS（Instagram）で更新しています。



instagramはこちら！
【与論住まいるプロジェクト】
@smilepj46n

【活動実績（サブリース物件）】

R4年度：1件、R5年度：1件、R6年度：2件

今後の取り組み

R6年度からは空き家の管理事業を開始しています。



▲メンバー集合写真



▲活動状況①



▲活動状況②



▲活動状況③



▲空き家の清掃前と清掃後

—発行—
鹿児島県 大島支庁

—制作—
公益財団法人 鹿児島県住宅・建築総合センター
(令和7年3月初版)

